

令和元年 12 月 13 日  
独立行政法人水資源機構  
朝倉総合事業所

## 記者発表資料

こいしわらがわ しけんたんすい  
**小石原川ダムは、試験湛水を開始します。**

現在建設中の小石原川ダムは、令和元年 10 月にダム堤体の盛立て、洪水吐き等主要構造物のコンクリート打設を完了し、その後湛水地内の整備が完了したことから、令和元年 12 月 14 日（土）10 時 00 分頃より、河川を切り替えていた仮排水トンネルに閉塞ゲートを降下させ、試験湛水を開始します。

小石原川ダムの試験湛水では、ダムの本格的な運用を始める前に実際に水を貯め、ダム堤体及び貯水池周辺の安全性を確認することとしており、洪水時最高水位（サーチャージ水位）まで貯水位を上昇させた後、貯水池周辺の安全性が確認される水位まで貯水位を降下させます。

当日は、ゲートの降下作業のみを行い式典等は実施いたしません。

なお、試験湛水開始は、天候により延期となる場合がありますのでご了承下さい。

試験湛水開始以降は、湛水の状況を朝倉総合事業所のホームページからご覧頂けます。以下のアドレスにて表示されるページより必要箇所の映像をご覧下さい。

URL <https://koishidam-cam.arksystem.jp/client/multi>



以上

### 問 い 合 わ せ 先

独立行政法人水資源機構 朝倉総合事業所 総務課長 おだ 小田  
住 所：福岡県朝倉市江川 1660-67  
電 話：0946（23）8171（代表）  
<https://www.water.go.jp/chikugo/koishi/index.html>



●小石原川ダムの概要

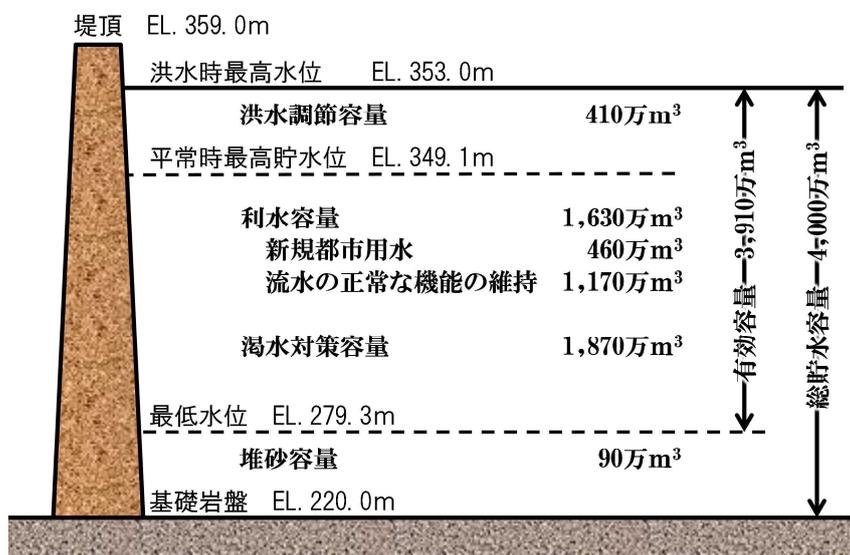
型式	ロックフィルダム	総貯水容量	4,000 万m <sup>3</sup>
堤高	139m（九州一の高さ）	有効貯水容量	3,910 万m <sup>3</sup>
堤頂長	約 550m	流域面積	約 20.5 km <sup>2</sup>
堤体積	約 870 万m <sup>3</sup>	湛水面積	約 1.2 km <sup>2</sup>



●ダム本体工事の経緯

- 平成 28 年 4 月 小石原川ダム本体建設工事着手
- 平成 29 年 8 月 ダム堤体盛立て開始
- 平成 30 年 5 月 小石原川ダム定礎式
- 令和元年 10 月 ダム堤体盛立て、洪水吐き等コンクリート打設完了

●貯水池容量配分図



## 仮排水トンネル閉塞位置図



## 閉塞ゲート降下の様子（大山ダム）

